

✈ グローバル教養副専攻4年間のスケジュール

[2017年度2年次生]

	春学期	秋学期
2017年度 (2年次)	6月26日・29日・30日 説明会	10月1日~1月31日 コース・テーマの登録・変更 「海外体験」認定申請
	7月1日~31日 コース・テーマの登録 「海外体験」認定申請	
2018年度 (3年次)	4月21日~7月31日 コース・テーマの登録・変更 「海外体験」認定申請	10月1日~1月31日 コース・テーマの登録・変更 「海外体験」認定申請
2019年度 (4年次)	4月21日~7月31日 コース・テーマの登録・変更 「海外体験」認定申請	10月1日~1月31日 コース・テーマの登録・変更 「海外体験」認定申請
		卒業式 グローバル教養副専攻修了証の交付

[2017年度1年次生]

	春学期	秋学期
2017年度 (1年次)	6月26日・29日・30日 説明会	1月中旬 説明会
2018年度 (2年次)	4月21日~7月31日 コース・テーマの登録 「海外体験」認定申請	10月1日~1月31日 コース・テーマの登録・変更 「海外体験」認定申請
	6月下旬 説明会	
2019年度 (3年次)	4月21日~7月31日 コース・テーマの登録・変更 「海外体験」認定申請	10月1日~1月31日 コース・テーマの登録・変更 「海外体験」認定申請
2020年度 (4年次)	4月21日~7月31日 コース・テーマの登録・変更 「海外体験」認定申請	10月1日~1月31日 コース・テーマの登録・変更 「海外体験」認定申請
		卒業式 グローバル教養副専攻修了証の交付

※2018年度以降の日程は変更となる可能性があります。

✈ チェックポイント

説明会	1年次は主にグローバル教養副専攻の制度を理解することが目的。 2年次はグローバル教養副専攻に必要な手続きについて理解する。
コース・テーマ 登録・変更	グローバル教養副専攻システムからコース・テーマの登録を行う。コース・テーマを選択後も対象期間であれば、変更が可能。
「海外体験」 相談・認定申請	グローバル教養副専攻システムから、「海外体験」の相談・認定申請を行う。「海外体験」として認定されるためには、コース・テーマごとに定められている「海外体験」の要件を満たしている必要がある。渡航前に計画している「海外体験」がコース・テーマの修了要件として認められるかどうか、グローバル教養副専攻システムから事前に相談もできる。
グローバル教養副専攻 修了証の交付	4年次の1月31日までにグローバル教養副専攻システムからコース・テーマの登録や「海外体験」の認定申請を行い、且つ卒業合格発表時にグローバル教養副専攻の修了に必要な要件を満たすことで、グローバル教養副専攻の修了が認定される。グローバル教養副専攻の修了証は、卒業式の際に交付される。

グローバル教養副専攻に関するお問い合わせ
履修に関するお問い合わせ

池袋キャンパス 教務事務センター(タッカーホール1階)
新座キャンパス 教務事務センター(7号館1階)

海外留学プログラムに関するお問い合わせ

池袋キャンパス グローバルラウンジ(マキムホール中2階)
新座キャンパス グローバルラウンジ(8号館1階)

グローバル教養副専攻
Webサイト

<http://s.rikkyo.ac.jp/rmp>



グローバル教養副専攻

RIKKYO
MINOR
PROGRAM

[2016年度以降1年次入学者対象]



立教大学

グローバル教養副専攻で、

グローバル教養副専攻は、
「専門性に立ち世界に通用する教養人の育成」を目標とするプログラムです。

所属学部等の専門性に加え、
これからの社会でより必要とされるグローバルかつ多面的に物事を考える力を身に付けるため、
自らの興味・関心に応じた副専攻のコース・テーマの科目を学び、「海外体験」を行います。

あなたの世界を広げる入口は、ここにあります。
さあ、出発しましょう。

あなたの世界を広げよう。

Toronto



主体性が 身に付いたことを実感

異文化コミュニケーション学部
異文化コミュニケーション学科 4年次
→ 立教大学派遣留学(トロント大学人文科学部)
⌚ 2年次秋学期~3年次春学期(2015年9月~2016年4月)

森 菜由香

自己の学力・英語力のさらなる向上を目指し、現地学生とともに、長期間に渡って授業を受講できるプログラムに参加したかったので、派遣留学プログラムを選択しました。コミュニケーション能力や異文化理解はもちろんですが、何より主体性が身に付いたことを実感しています。何事にも自分から挑戦することが、より充実した留学生活につながったように思います。留学生たちとの交流を通し、言葉や文化の違いを超えた相互理解の促進に貢献したいと思うようになりました。現在は翻訳・通訳を学んでおり、将来はコミュニケーションの仲介者として活躍したいと考えています。

充実した海外体験のためにも、日本にいるうちでできること(語学やその他の学習)に真摯に取り組みましょう。

学習のポイント

英語の必修科目に加え、自由科目で応用的な知識やスキルを身に付けました。特に全学共通科目の言語自由科目「University Lecture」は、英語で専門的な学問分野について学ぶことができるので、留学先での授業に備える良い機会となりました。

MESSAGE



Oakland Sydney



積極性を得て、 仲間にも認められる

コミュニティ福祉学部 スポーツウエルネス学科 4年次
→ 官民協働海外留学支援制度トビタテ留学!
JAPAN日本代表プログラム 多様性人材コース
⌚ 3年次終了後留学(2016年4月~2017年3月)

岸 笙子

2015年5月、タッチラグビーW杯で世界No.1のオーストラリアと初めて対戦しました。まったく歯が立たず悔しかったと同時に、なぜあれほどに強いのか知りたくなり、また一緒にプレーをして自分の力を試したいと思い留学を決意しました。練習や試合で英語でのコミュニケーションがうまく取れなかったときには、積極的にチャレンジし、プレーでアピールすることで、チームメイトやコーチに認めてもらうことができました。次回のW杯でのメダル獲得に向けて、留学で得た知識や技術を、日本のタッチラグビーのレベル向上につなげていきたいです。英語も継続して勉強していきます。

留学では一生忘れられない経験が得られます。奨学金や留学制度は数多くあるのでチャレンジしてみてください!

学習のポイント

英語は大学1年次に必修の授業でしっかり学び、2・3年次はディスカッションやTOEIC対策などの授業を履修していました。また、競技に生かせる学科の授業を多く履修しました。

MESSAGE



海外体験REPORT

海外体験が自分を照らし出す。

日本語という逃げ道のない 世界で得た、トライする姿勢

経営学部 国際経営学科 3年次
→ 全学共通科目 言語系科目 中国語海外言語文化研修
⌚ 2年次の夏季休業期間

淀 縄 愛

英語ではない言語を習得して自分の強みにしたいと思っていたので、言語Bで中国語を学び始めました。楽しくて、もっと深めてより“使う力”を身に付けたいと、中国語海外言語文化研修に参加しました。特に大きかったのはトライする姿勢が身に付いたこと。日本の授業では間違えてはいけない意識が強く、なかなか発言できませんでしたが、日本語という逃げ道がなくなり、とにかく話すタフさが身に付きました。将来仕事に生かせるレベルまで磨きをかけるため、これからも勉強していきます。失敗を恐れずトライする心を忘れずに、自分からアクションを起こせる人間でありたいと思います。

Taipei



皆さんは海外体験に何を期待していますか?海外へ行く目的が明確であれば経験は何倍も良いものになると思います!

学習のポイント

全学共通科目の言語自由科目から「中国語スタンダード」を履修していました。その他プログラムの事前研修が5回あり、大学で行われる授業のシミュレーションを行い、台湾についての基礎知識などを学びました。

MESSAGE



グローバルな コミュニケーション力

現代心理学部 映像身体学科 4年次
→ 全学共通科目 総合系科目
RSL-グローバル フィリピンプログラム
⌚ 2年次の春季休業期間

生 川 遼

所属学部・学科では学び得ないことを、学べる機会があればと考えていました。そんな折にこのプログラムを知り、海外へ行くことにも興味があったため参加しました。初めて訪れる国、そして初めて出会う人々を通して、新たに知ることがたくさんあり、どんな出来事にも何かしらの発見があるものだと感じ、さまざまなことに挑戦する姿勢を持てるようになりました。海外の方とコミュニケーションをとるとき、価値観の違いを感じる以上に理解し合えることも多く、人と心を通わせようとするのは、どのような場面においても生きてくるのではないかと思います。

Quezon City



海外では思った以上の出会いや学びがあると思います。やってみたいという思いを大事にしてください。

学習のポイント

プログラムに必要な学習の基準等が特に無かったため、正直そういった準備は全くしていませんでした。初めての体験は誰もが緊張すると思いますが、それを糧に自分を成長させるための、前向きな気持ちが大切だと思います。

MESSAGE



グローバル教養副専攻の全体像

グローバル教養副専攻は、「Arts & Science Course」、「Language & Culture Course」、「Discipline Course (2018年度開設予定)」の3つのコースから構成されています。2年次の春学期以降にコースを選択し、コース修了に向けて計画的に科目を履修しましょう。修了には大学が認定する「海外体験」を必ず行うことと、第1系列から第3系列の科目群からテーマによって定められた単位数を修得することが必要です。



コースとテーマ

2017年6月現在、グローバル教養副専攻には「[Arts & Science Course](#)」と「[Language & Culture Course](#)」の2つのコースがあり、それぞれに8つのテーマが設定されています。

[Arts & Science Course](#)は、全学共通科目の総合系科目である「多彩な学び」「スポーツ実習」を中心に履修するほか、言語系科目や海外体験を要件に従って組み入れ、専門分野の枠を超えた幅広い知識と教養、総合的な判断力を養うコースです。

[Language & Culture Course](#)は、全学共通科目の言語系

科目を中心として「海外体験」とともに構成するコースです。専門性に加え、物事を多面的にとらえて持続的に考える能力を養成できるように、多文化を理解する力や外国語を使う力を身に付けます。言語A(英語)を中心とした3つのテーマと、言語B(ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語)を中心とした5つのテーマがあります。

また、2018年度より学部や学内研究機関が提供する「Discipline Course」の開設も予定しています。

3つの系列と海外体験

グローバル教養副専攻の各コース・テーマは、3つの系列と海外体験によって構成され、自分が目指す海外体験をイメージしながら、指定された科目を履修する必要があります。3つの系列の修得すべき単位、海外体験の認定基準はコース・テーマごとに異なります。



グローバル教養副専攻のコース・テーマ

各コース・テーマにおける科目、海外体験の詳細、システムの
利用方法はグローバル教養副専攻Webサイトで確認すること
<http://s.rikkyo.ac.jp/rmp>



Arts & Science Course

	テーマ1 Global Humanity	テーマ2 Global Social Experience	テーマ3 Global Art Experience	テーマ4 Global Mind	テーマ5 Global Studies of Nature and Environment	テーマ6 Global Citizenship	テーマ7 Global Sports	テーマ8 Global Studies of Region	使用言語	必要単位
第1系列	F科目、J科目								日本語・外国語	2単位以上
第2系列	「多彩な学び」第1カテゴリを中心とする指定科目から10単位以上	「多彩な学び」第2カテゴリを中心とする指定科目から10単位以上	「多彩な学び」第3カテゴリを中心とする指定科目から10単位以上	「多彩な学び」第4カテゴリを中心とする指定科目から10単位以上	「多彩な学び」第5カテゴリを中心とする指定科目から10単位以上	「多彩な学び」第6カテゴリを中心とする指定科目から6単位以上	「スポーツ実習」から4単位以上 「多彩な学び」第4カテゴリを中心とする指定科目から6単位以上	「多彩な学び」第1、2、3カテゴリを中心とする指定科目から10単位以上	日本語・外国語	14単位以上
	上記以外の「多彩な学び」(第1系列、第2系列の指定科目、コラボレーション科目、立教ゼミナール発展編を除く)									
第3系列	F科目、言語系科目自由科目、学部等提供の海外実習系科目(「海外体験」と兼ねることも可)								外国語	4単位以上
海外体験	認定要件についてはグローバル教養副専攻Webサイトを参照								外国語	認定
修了に必要な総単位数										26単位

Language & Culture Course / 言語A・言語B

言語A (英語)	テーマ1 Academic Studies in English	テーマ2 World Issues in English	テーマ3 Communication in English	使用言語	必要単位
	英語圏の大学へ留学するのに必要な英語力とアカデミックスキルを獲得する。	世界中で起こっていることをリアルタイムで理解し、議論できるようになる。	世界を相手に英語で自分の意見を堂々と主張し、発信できるようになる。		
第1系列	F科目、「Japanese Studies through English」			英語	2単位
第2系列	英語の必修単位から6単位算入				24単位
	「English Intensive」「Lecture & Discussion」「English Communication」から8単位以上				
①「英語海外文化研修」、学部提供英語科目、第3系列以外の英語自由科目					
第3系列	②TOEFL科目群、Academic Skill科目群、「University Lecture」「Career Studies」など	②時事英語科目群、Academic Skill科目群、「University Lecture」「Career Studies」など	②教養としての英語科目群、Academic Skill科目群、「University Lecture」「Career Studies」など	10単位以上	
海外体験	「英語海外文化研修」、大学主催の海外留学プログラム(グローバル教養副専攻Webサイトを参照。修得した単位は第3系列の単位数に含める。)			認定	
修了に必要な総単位数					26単位

言語B (ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語)	テーマ4 German Language & Culture	テーマ5 French Language & Culture	テーマ6 Spanish Language & Hispanic Culture	テーマ7 Chinese Language & Culture	テーマ8 Korean Language & Culture	使用言語	必要単位
	ドイツ語の技能を磨くとともに、ドイツ語圏の文化や社会への理解を深める。	フランス語の技能を磨くとともに、フランス語圏の文化や社会への理解を深める。	スペイン語の技能を磨くとともに、スペイン語圏の文化や社会への理解を深める。	中国語の技能を磨くとともに、中国語圏の文化や社会への理解を深める。	朝鮮語の技能を磨くとともに、朝鮮語圏の文化や社会への理解を深める。		
第1系列	F科目、J科目、「Japanese Studies through English」					日本語・外国語	2単位以上
第2系列	「ドイツ語圏の社会」「ドイツ語圏の文化」「ドイツ語圏の文学」などから4単位以上	「フランス語圏の社会」「フランス語圏の文化」「フランス語圏の文学」などから4単位以上	「スペイン語圏の社会」「スペイン語圏の文化」「スペイン語圏の文学」などから4単位以上	「中国語圏の社会」「中国語圏の文化」「中国語圏の文学」などから4単位以上	「朝鮮語圏の社会」「朝鮮語圏の文化」「朝鮮語圏の文学」などから4単位以上	各言語B・日本語	6単位以上
	「多彩な学び」第1カテゴリを中心とする指定科目						
第3系列	言語系科目の「ドイツ語自由科目」などから8単位以上	言語系科目の「フランス語自由科目」などから8単位以上	言語系科目の「スペイン語自由科目」などから8単位以上	言語系科目の「中国語自由科目」などから8単位以上	言語系科目の「朝鮮語自由科目」などから8単位以上	各言語B	10単位以上
派遣留学や学部等の留学プログラムで修得した単位							
海外体験	ドイツ語圏に渡航する大学主催の海外留学プログラム	フランス語圏に渡航する大学主催の海外留学プログラム	スペイン語圏に渡航する大学主催の海外留学プログラム	中国語圏に渡航する大学主催の海外留学プログラム	朝鮮語圏に渡航する大学主催の海外留学プログラム	各言語B	認定
ドイツ語圏に渡航する大学主催以外の海外留学プログラム(主催団体から参加・受講証明書などが発行されるもの)							
フランス語圏に渡航する大学主催以外の海外留学プログラム(主催団体から参加・受講証明書などが発行されるもの)							
スペイン語圏に渡航する大学主催以外の海外留学プログラム(主催団体から参加・受講証明書などが発行されるもの)							
中国語圏に渡航する大学主催以外の海外留学プログラム(主催団体から参加・受講証明書などが発行されるもの)							
朝鮮語圏に渡航する大学主催以外の海外留学プログラム(主催団体から参加・受講証明書などが発行されるもの)							
修了に必要な総単位数							26単位

(注) ①と②を合わせて6単位以上修得すること

グローバル教養副専攻の手続きについて

各コース・テーマにおける科目、海外体験の詳細、システムの
利用方法はグローバル教養副専攻Webサイトで確認すること
<http://s.rikkyo.ac.jp/rmp>



[2017年度2年次生]

	STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4
イベント	説明会	コース・テーマの選択	履修登録	「海外体験」の事前相談 ※希望者のみ
対象期間	2017年6月26日・29日・30日	2017年 7月1日～31日	2017年度秋学期以降の 履修登録期間	毎年度 4月21日～7月31日、 10月1日～1月31日
ポイント	グローバル教養副専攻の制度と、具体的な手続きについて理解する。	グローバル教養副専攻のコース・テーマを決定する。原則として7月中にグローバル教養副専攻システムにアクセスし、自身のコース・テーマを決定する。	履修登録期間に自身の選択したコース・テーマに沿った科目を選択して計画的な履修を行う。	自主企画による「海外体験」を計画している学生で、計画している「海外体験」がグローバル教養副専攻の対象となるかどうか、グローバル教養副専攻システムを通して事前相談を行うことができる。

[2017年度1年次生]

	STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4
イベント	説明会	コース・テーマをイメージした履修登録	コース・テーマの選択	履修登録
対象期間	2017年6月26日・29日・30日 2018年1月中旬、6月下旬	2017年度秋学期の履修登録期間 2018年度春学期の履修登録期間	2018年 4月21日～7月31日	2018年度秋学期以降の履修登録期間
ポイント	グローバル教養副専攻の制度について理解し、2018年6月までに選択するコース・テーマを決定する。	グローバル教養副専攻で選択するコース・テーマをイメージし、履修登録期間にはコース・テーマに沿った科目を選択して計画的な履修を行う。	グローバル教養副専攻のコース・テーマを決定する。原則として7月末までにグローバル教養副専攻システムにアクセスし、自身のコース・テーマを決定する。	履修登録期間に自身の選択したコース・テーマに沿った科目を選択して計画的な履修を行う。

2018年度以降の日程は変更となる可能性があります。
ステップの段階は、「海外体験」のタイミングなどによって異なる場合があります。
グローバル教養副専攻システムの使い方は、グローバル教養副専攻Webサイト(<http://s.rikkyo.ac.jp/rmp>)に掲載します。

グローバル教養副専攻 Q&A

Q1 全ての学生が登録できるのでしょうか?

A1 2016年度以降の学部1年次入学学生であれば誰でも登録することができます。コース・テーマの登録時期は、2年次の7月以降です。

Q2 必ず登録・修了しないといけないのでしょうか?

A2 必須ではありません。しかし、学部・学科等の専門性に加えて、これからの社会でより必要とされるグローバルかつ多面的に物事を考える力を身に付けるため、自らの興味・関心に応じた副専攻のコースに登録し、テーマに沿った科目を履修することを推奨します。

Q3 卒業に必要な単位数(卒業要件単位)に算入されますか?

A3 算入されます。Arts & Science CourseとLanguage & Culture Courseは、全学共通科目の科目群を中心に構成され、所属学部学科(専

修)等で定められている卒業要件単位にしたがって算入されます。

Q4 コース登録前に履修した科目は副専攻の修了要件単位に算入されますか?

A4 算入されます。

Q5 グローバル教養副専攻として履修した科目は、履修登録の上限単位数に含まれますか?

A5 履修登録上限単位数に含まれます。

Q6 履修において、先修規定^{*}はありますか?

A6 Arts & Science Courseの各テーマには、原則先修規定はありません。Language & Culture Courseの各テーマには、先修規定や語学検定試験の基準点を設定している科目が一部あります。

^{*}先に特定の単位を修得しておくことを条件としている科目

Q7 複数のコース登録やコース変更はできますか?

A7 登録できるコースは1つです。複数のコースを登録することはできません。ただし、コース変更は可能です。

STEP 5	STEP 6	STEP 7	STEP 8
「海外体験」の認定申請	進捗状況の確認	コース・テーマの変更 ※希望者のみ	修了認定
毎年度 4月21日～7月31日、 10月1日～1月31日	コース・テーマ選択後 随時	毎年度 4月21日～7月31日、 10月1日～1月31日	2020年2月中旬 [*] 修了証は卒業式で交付 ※特別卒業の場合は2020年9月
「海外体験」の帰国後に、グローバル教養副専攻システムより、選択したコース・テーマの「海外体験」として認定申請を行う。	グローバル教養副専攻システムから、選択したコース・テーマ、系列ごとの単位取得状況、修得した副専攻対象の科目名、「海外体験」の申請状況を確認することができる。	一度選択したグローバル教養副専攻のコース・テーマは対象の期間であれば、グローバル教養副専攻システムから変更することができる。 ※コース・テーマの登録も対象の期間であれば、グローバル教養副専攻システムから行うことができる。	修了認定のためには、修了要件の科目を修得し、2020年1月31日まで [*] にグローバル教養副専攻システムからテーマ・コースの登録や「海外体験」の認定申請を行う必要がある。 ※特別卒業の場合は、2020年7月31日まで

STEP 5	STEP 6	STEP 7	STEP 8	STEP 9
「海外体験」の事前相談 ※希望者のみ	「海外体験」の認定申請	進捗状況の確認	コース・テーマの変更 ※希望者のみ	修了認定
毎年度 4月21日～7月31日、 10月1日～1月31日	毎年度 4月21日～7月31日、 10月1日～1月31日	コース・テーマ選択後 随時	毎年度 4月21日～7月31日、 10月1日～1月31日	2021年2月中旬 [*] 修了証は卒業式で交付 ※特別卒業の場合は2021年9月
自主企画による「海外体験」を計画している学生で、計画している「海外体験」がグローバル教養副専攻の対象となるかどうか、グローバル教養副専攻システムを通して事前相談を行うことができる。	「海外体験」の帰国後に、グローバル教養副専攻システムより、選択したコース・テーマの「海外体験」として認定申請を行う。	グローバル教養副専攻システムから、選択したコース・テーマ、系列ごとの単位取得状況、修得した副専攻対象の科目名、「海外体験」の申請状況を確認することができる。	一度選択したグローバル教養副専攻のコース・テーマは対象の期間であれば、グローバル教養副専攻システムから変更することができる。 ※コース・テーマの登録も対象の期間であれば、グローバル教養副専攻システムから行うことができる。	修了認定のためには、修了要件の科目を修得し、2021年1月31日まで [*] にグローバル教養副専攻システムからテーマ・コースの登録や「海外体験」の認定申請を行う必要がある。 ※特別卒業の場合は、2021年7月31日まで

Q8 登録したけれど、修了できなかった場合には、卒業の可否に関係しますか?

A8 グローバル教養副専攻修了の可否は、卒業の可否とは関係ありません。

Q9 3年次までに必要な単位を満たした場合、その時点でグローバル教養副専攻の修了証の発行は可能でしょうか?

A9 修了証は、卒業式当日に交付されます。それ以前の交付はできませんが、グローバル教養副専攻システムから修得科目や認定状況の確認および印刷が可能です。

Q10 認定される「海外体験」にはどのようなものが該当しますか?

A10 大学の正課科目や派遣留学が対象となります。正課外プログラムや自主企画による海外渡航も対象にできます。各コース・テーマ別に認定基準が異なりますので、グローバル教養副専攻のWebサイトをご確認ください。グローバル教養副専攻システムから事前相談も受け付けております。

Q11 「海外体験」はいつごろ行うのがよいのでしょうか?

A11 推奨時期は特に決めていません。入学時(1年次)から卒業年次まで可能で、コース・テーマ・登録前に行った「海外体験」も申請対象となります。

Q12 休学留学の場合、「海外体験」として認定されますか?

A12 Arts & Science Course、Language & Culture Courseとも、在学・休学留学を問わず、所定の手続きによって「海外体験」として認定されます。

Q13 留学で取得した単位は認定できますか?

A13 在学留学で取得し、本学で認定された単位は、グローバル教養副専攻の修了要件として算入される場合があります。

Q14 「海外体験」にあたり、大学からの奨学金制度はありますか?

A14 本学が実施する海外留学プログラムへの参加者を対象にした奨学金「立教大学グローバル奨学金」などがあります。詳細は、SPIRITホーム(学生生活)学費・奨学金を確認してください。

Q15 必修科目として履修した言語以外の言語のテーマを登録することはできますか?

A15 登録できます。ただし、Language & Culture Courseの各テーマの科目の一部には、先修規定や、語学検定試験の基準点を設定しています。